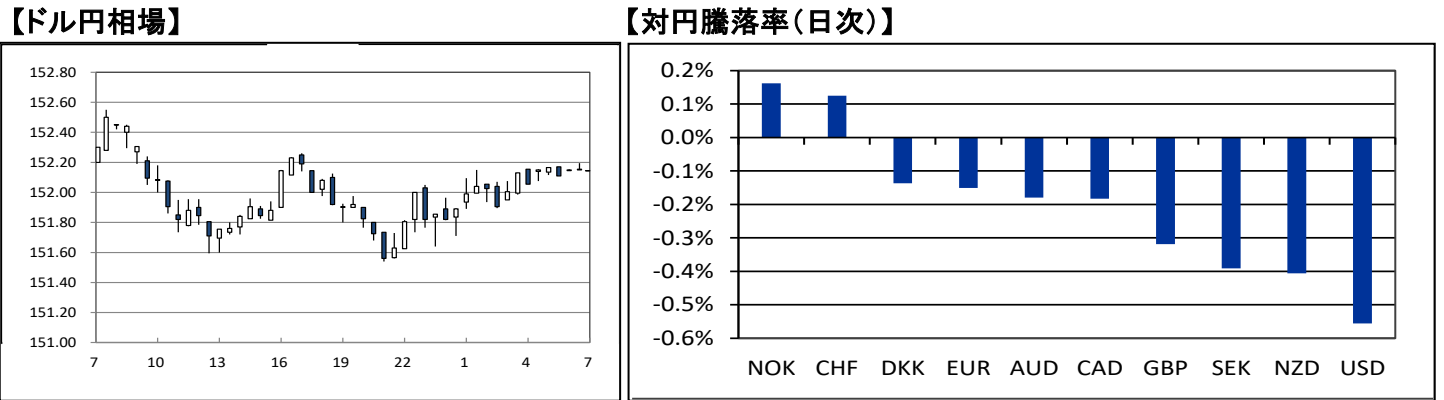


【昨日の市況概要】				公示仲値	-
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	152.21	1.0873	165.55	1.2955	0.6592
SYD-NY High	152.95	1.0914	165.77	1.2999	0.6618
SYD-NY Low	151.54	1.0848	165.25	1.2930	0.6579
NY 5:00 PM	152.15	1.0877	165.51	1.2957	0.6586
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	41,794.60	▲ 257.59	日本2年債	-	-
NASDAQ	18,179.98	▲ 59.93	日本10年債	-	-
S&P	5,712.69	▲ 16.11	米国2年債	4.1661%	▲0.0435%
日経平均	-	-	米国5年債	4.1477%	▲0.0781%
TOPIX	-	-	米国10年債	4.2857%	▲0.0989%
シカゴ日経先物	38,460.00	▲ 205.00	独10年債	2.3890%	▲0.0145%
ロンドンFT	8,184.24	7.09	英10年債	4.4550%	0.0125%
DAX	19,147.85	▲ 107.12	豪10年債	4.5630%	0.0080%
ハンセン指数	20,567.52	61.09	USDJPY 1M Vol	13.11%	0.48%
上海総合	3,310.21	38.19	USDJPY 3M Vol	11.70%	▲0.05%
NY金	2,746.20	▲ 3.00	USDJPY 6M Vol	10.96%	▲0.17%
WTI	71.47	1.98	USDJPY 1M 25RR	▲0.92%	Yen Call Over
CRB指数	282.75	3.32	EURJPY 3M Vol	10.20%	▲0.32%
ドルインデックス	103.89	▲ 0.40	EURJPY 6M Vol	10.07%	▲0.30%

東京	アジア時間のドル円は152.21レベルでオープン。東京休日でマーケット参加者も少ない中、米大統領選に関する最新の世論調査でハリス氏がわずかにトランプ氏を上回ったとの週末の報道が意識されてか、朝方からドル売りが優勢。ドル円はアジア時間午前中を通して円高基調で推移して151.60まで下落したが、その後は反転。午後は小幅に上昇して一部下げ幅を戻すと、151.88レベルで海外市場へと渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、151.88レベルでオープン。週末にかけてハリス氏当選に対するベッティングオッズが反転し、引き続きトランプ・トレードのアンカインドが続く。反発しながらも売られ結局151.82レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は152円台後半でスタート。週末に発表された複数の世論調査で、トランプ前大統領の勝利見通しが後退しているとの見方が強まると、「トランプ・トレード」の巻き戻しからドル安の展開となり、ドル円は軟調な値動きが続き、151.82レベルでNYオープン。午前中に発表された米9月耐久財受注(前月比)が予想程悪化しなかったものの、特段材料視されず。その後は米金利が下が幅を拡大する動きに追随し、151.64まで値を下げる。売り一巡後は、徐々に買い戻され、152.10付近まで戻す神経質な推移が続く。午後は注目の米大統領選の開票日を翌日に控え、積極的な取引が手控えられる中、152.10付近で様子見ムードが強まり、NY高値の152.19をタッチし、その後152.15レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。ユーロ圏11月センチックス投資家信頼感指数が予想をした回るも、ユーロドルは反応薄。その後は米金利の低下に伴ったドル売りが支えとなり、じり高で推移し、1.0905レベルでNYオープン。午前中は1.0909まで上昇する場面もあったが、その後の米金利の上昇が上値を抑え、一転軟調な推移となり、1.0880付近まで反落。午後は米大統領選の開票日を翌日に控え、1.0874まで小幅続落し、その後1.0877レベルでクロス。

【昨日の指標等】						
Date	Time	Event			結果	予想
11月4日	17:55	独	製造業PMI・確報	10月	43.0	42.6
	18:00	欧	製造業PMI・確報	10月	46.0	45.9
11月5日	00:00	米	製造業受注(前月比)	9月	-0.5%	-0.5%
	00:00	米	製造業受注(除輸送)	9月	0.1%	-
	00:00	米	耐久財受注(前月比)・確報	9月	-0.7%	-0.8%
	00:00	米	耐久財受注(除輸送用機器)・確報	9月	0.5%	0.4%
	00:00	米	ISM非製造業景況指数	9月	53.8	54.9
【本日の予定】						
Date	Time	Event			予想	前回
11月5日	10:45	中	Caixin中国PMIコンポジット	10月	-	50.3
	10:45	中	Caixin中国PMIサービス業	10月	50.5	50.3
	12:30	豪	RBAキャシュレート	5-Nov	4.35%	4.35%
	16:45	仏	鉱工業生産(前月比/前年比)	9月	-0.6%/-0.4%	1.4%/0.5%
	16:45	仏	製造業生産(前月比/前年比)	9月	-1.3%/	1.6%/0.3%
	22:30	米	貿易収支	9月	-\$84.0b	-\$70.4b
	23:45	米	コンポジットPMI・確報	10月	54.3	54.3
	23:45	米	サービス業PMI・確報	10月	55.3	55.3
	00:00	米	ISM非製造業景況指数	10月	53.8	54.9
	00:00	米	ISM製造業景況指数	10月	53.8	54.9



【予想レンジ】				
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	
想定レンジ	151.30—153.50	1.0830—1.0930	164.50—166.50	

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は一日を通して小幅なレンジでの値動きも、ややドル売優勢の展開。東京休日の中、米世論調査結果がハリス氏リードを示し、下落してオープン。海外時間に反発し152.26を付けるも、その後は米大統領選結果の不透明感が高まり、米株が値を落とすなど市場全体でリスクオフの雰囲気漂い、上値重い推移となった。

本日のドル円は米大統領選を控えた動意薄い展開を予想する。米大統領選は本日投票予定のものの、選挙結果を左右する激戦州の結果が開示されるのは、明日以降となっている。そのため本日はポジションを取りづらく、値幅は限定的だろう。ただし、昨日米世論調査結果がハリス氏リードを示し、米金利の下落とともにドル安が進んだように、報道や調査結果により一時ボラティリティが高まる可能性もある。市場ではまだトランプ氏勝利が織り込まれているため、ハリス氏優勢と報じられた場合にはより値幅が出やすくなるだろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。